



港区立小中一貫教育校

白金の丘

白金の丘小学校・白金の丘中学校

令和7年5月1日

第2号

教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761
Email:sirokanenooka-ej@minato-tky.ed.jp HP:https://sirokanenooka-ej.minato-tky.ed.jp

「ありがとう」を心から思い、言える人に

校長 篠崎 玲子

先月、入学式を終えた新1年生と新7年生を歓迎する対面式を実施しました。全校児童・生徒が一堂に会し、対面した姿は、どの学年の児童・生徒も新学年での高い志を胸に掲げており、大変立派なものでした。

さて、皆さんは「ありがとう」と周りの人たちにわかるように伝えていますか。

親切にしてもらったり、助けてもらったりした時に、自然と出てくる言葉であると私自身は思っていますが、皆さんはどうでしょうか。

学園の中を毎日回っていると、偶然、物を落としたり、服装のみだれ(襟が正しく折れていない、シャツが中途半端にズボンから出ていたりすること)を教えてあげたりすることがあります。白金の丘学園のほとんどの児童・生徒は、「ありがとうございます。」と自然に私に話しかけてくれます。これは、大人の私と子供の皆さんだからなのではなく、子供同士、大人同士の場合でも自然に「ありがとう」がかわされているのでしょうか。少し、考えてみてください。

少し前に朝会で児童・生徒の皆さんに、「世界的に活躍している人達に共通していえることは、常に周りの人たちに感謝の気持ちをもっていて、それをことあるごとに伝えている」と話をしたことがあります。

自分だけで、全てのことが完結しているのではなく、周りの人がいてくれるからこそ、今の自分があると意識をすることで、日常的な出来事についても、心の底から感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」という言葉をきちんと相手に伝えるように発することができるのではないのでしょうか。

新学期がスタートして、児童・生徒の皆さんにここで改めて、

周りの人に「ありがとう」を心の底から思って伝えることができているか。
を確認し、ぜひ実行してほしいです。

社会的にも「ありがとう」と常に感謝の気持ちをもって周りの人に伝えている人達が活躍していることを踏まえ、周りの人の支えがあってこそその自分の活躍であることを再確認し、しっかりと「ありがとう」を言える人になってほしいです。

私も周りの人達への感謝の気持ちを「ありがとう」と伝えていきます！